

第6次環境ボランティアプラン【2017～2020年度】 公害防止・有害化学物質使用削減

領域	項目		2020年度までの	2019年度		2020年度
			目標・取り組み	目標	実績	目標・取り組み
商品	低排出ガス化	◆大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	◇日本：WLTPにおける低排出ガス基準認定車を拡大（SUBARU 生産車） 海外：各国、各地域大気環境改善のための低排出ガス車の導入を推進	・微小粒子物質の排出を抑制するGPF（Gasoline Particulate Filter）付き車両を市場投入する ・北米向けにSULEV 対応車両の展開を拡げる先行開発を実施する	・新型パワーユニット「e-BOXER」を搭載した新型フォレスター、SUBARU XVにGPFを搭載し、欧州投入した ・北米向けにSULEV車の先行開発を計画通りに推進した	・日本：引き続きWLTPにおける低排出ガス基準認定車を拡大する ・北米向けSULEV対応車の先行開発を完了させる
	環境負荷物質の使用低減	◆環境負荷物質の管理拡充および、さらなる低減を推進	◇製品含有化学物質の管理強化 ◇環境負荷のより少ない物質への代替推進	・化学物質管理IMDSを用いた化学物質管理の継続強化を図る ・環境負荷物質の代替推進 フタル酸エステルなど規制物質の代替方針に沿った代替推進する	・従来までのIMDS管理を強化すべく、全部分の成分管理を可能にするIMDSシステムを構築し、2019年度より運用開始した ・フタル酸エステルの代替方針（2024年7月まで）を策定し、方針に沿った代替を推進	・IMDSを用いた化学物質管理の継続強化を図る ・規制強化される環境負荷物質の代替を継続する
生産	自動車	◆自動車生産ラインにおけるVOC（揮発性有機化合物）の排出量原単位（g/m ³ ）をさらに削減	◇VOC 排出量原単位を削減する	2019年度目標44.2g/m ³	・2019年度上期実績44.9g/m ³ ・2019年度通年実績44.0g/m ³	2020年度目標44.7g/m ³
	生産工場における環境負荷物質の管理と排出削減	◆PRTR 法対象化学物質の環境への排出量削減を継続	◇PRTR 法による指定化学物質を把握・管理すると共に、さらなる削減を推進	PRTR 物質集計および管理を継続実施する	PRTR法に則り、2019年6月に対象化学物質の排出量を国へ報告	PRTRシステム改善と継続集計
		◆環境上の構外流出事故・苦情・法基準値超過の発生ゼロを目指した活動を推進	◇環境リスク低減活動などを通じて、環境事故・苦情・法基準値超過のゼロを目指した活動を推進 ◇上乗せ自主基準値を設定し、小さなリスクの撲滅活動を推進	環境リスク低減活動の継続実施（啓発、教育、地域共生）と2019年度目標は、左記項目についてすべて0件を目指す	・法規制超過：5件 群馬3件（放流水BOD 大腸菌 夜間騒音）宇都宮1件（半田BOD） 本社1件（部品センター騒音） ・苦情：2件 群馬矢島臭気北工場騒音（建物補修不備） ・流出事故：2件 群馬油漏洩	2020年度も、左記項目についてゼロを目指す